

5. 栽培ノート「おやこすくすく日記」～好奇心や探究心を親子で膨らませる～ 刈谷市立重原幼稚園（愛知県刈谷市） [4歳児]

幼児は、自分の身の回りに起こっていることに好奇心をもち、心を揺さぶられる直接体験の中で、新たな思いや疑問が生まれ、探究心が膨らむ。また、今までの経験や、自分なりの発見や気づき、他からの刺激を受けて、更に探究心が膨らむ。こうして、自分なりに考えたり、試したりしてその楽しさを味わう体験は、豊かな感性や創造性の芽生えを育み、物事を深く追求しようとする意欲につながると思われる。この意欲を育てることが「科学する心」を育てることにつながると考え、下記の3つの保育計画を実践した。

◇幼児の好奇心や探究心が、更に膨らむための保育計画を実践する

- 計画1 季節の移り変わりや自然の中で動植物との出会いによって、発見したことや疑問に思ったことなどを、試したり、本で調べたりして、好奇心や探究心が更に深まるようにする。
- 計画2 土作りから、世話、収穫まで親子で行いながら、夏野菜を栽培し、発見・疑問・喜びなど、様々な思いを栽培ノートに書いてもらい、好奇心や探究心を親子で膨らませていけるようにする。
- 計画3 幼児同士が思いを伝え合う機会を大切にすることで、幼児が自分の考えに反映して、更に考えることや、友達同士で思いや考えを出し合っ、発見したり、試行錯誤したりして、納得することの楽しさや充実感を感じ、考える楽しさを味わえるようにする。

計画2の事例

親子で夏野菜を育てる中で、いろいろな気づき、発見、驚きなどを感じ、
親も子どもと一緒に心動かす体験をする 4・5歳児 5月～8月

<幼児の姿と保育者の願い>

“豊かな経験ができるように” “豊かな心が育つように” という思いから、野菜や植物の栽培を園内で行ってきた。そこで、幼児と共に保護者の方自身も自然や植物の不思議さや素晴らしさを感じ、心を動かし、好奇心や探究心をもって欲しいと考えた。

また、同じ体験をすることで、保護者の方が幼児の気持ちに寄り添い理解し、幼児の好奇心や探究心を膨らませることもつながると考えた。

昨年度は親子で夏野菜の栽培をした。

今年度は、土作りから、世話、収穫まで親子で行いながら、夏野菜を栽培し、発見、疑問、喜びなど、様々な思いを栽培ノート「おやこすくすく日記」に書いてもらい、保護者の方が、植物や幼児の発見や驚きなどを、意識して見ようとしたり、継続して見ようとしたりする中で、保護者の方も幼児も共に、更に好奇心や探究心を膨らませていけるようにしたいと願った。

<保護者の方への啓発の家庭通信（一部抜粋）>

園では、子どもたちが栽培を行う中で、次のようなことが育つと考えています。
<食べ物を育てる経験・・・>

野菜などを育てる経験は、触ったり、匂いをかいだりして、五感を働かせながら、生長に期待し、驚きや発見を実体験しながら、愛情を込めて世話をすることです。そして、収穫の喜びを味わいます。また、すぐには収穫できないことから、水や肥料をやったりすることで、継続することの大切さを知ります。これらのことから、思いやる気持ちや、自分も親に愛されている存在であることに気がきます。そして、食べ物を自分で育てる経験から、全ての食べ物を自分で育てられるわけではないことを知り、他人への感謝の心も育ちます。

私たち職員も、保護者の方も、子どもたちに思いやりの心や豊かな心が育って欲しいと思う気持ちは同じだと思います。

今年度年長児は、畑でさつまいも・ひまわり、園内で米・ナス・ピーマン・オクラ・シシトウ、年中児は、畑でさつまいも、園内でミニトマトを栽培します。そこで、園での栽培活動がより実りあるものにするために、ぜひ保護者の方にご協力いただきながら、子どもたちの栽培物を親子で観察していただき、「おやこすくすく日記」に記入していただきたいと思います。何を観察していただいてもいいです。よろしくお願いします。

- 1 いつから? ～中略～
- 2 書く内容は?
 - ・子どものつぶやきや発見
 - ・保護者の方から見た子どもの姿
 - ・保護者の方の感想
 などなど絵でも文章でもどんなことでも構いません。
- 3 その他 お子さんの微笑ましいつぶやきや発見、保護者の方の感想などは、随時、皆さんにお便りで紹介させていただきます。

4歳児 ミニトマト親子栽培 <「おやこすくすく日記」より一部抜粋>

子どもたち

*黄色い花からどんな色の
トマトができるか、自分
なりに考えながら楽しみ
に思うY児。

Y児のつぶやき

「きいろのおはながさいたら、
さいろのトマトができるかな...?」

植木鉢：

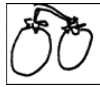
- ・ミニトマト
- ・赤ミニトマト
- ・黄ミニトマト
- ・ウインナートマト

 の中から一つ選ぶ
畑：さつまいも

*トマトの形や色の変化に好奇心をもったY児親子。

6月15日

緑の葉がほとんど大きくなってきて、
お尻の色が赤くなってきています。
ミニトマトの葉の型が長細いことに気がつ
き、とても大事がっていました。



6月22日

葉がさらに赤かほしくなり、下半分が赤い
葉色、19センチほど。
お尻の色も大きくなり、葉がほとんど
のみで、くらべて、よくなりました。

7月13日

葉が赤くなり、お尻の色が赤くなり、
長くて大きくなっています。
葉色が赤くなり、お尻の色が赤くなり、
ふしどい感じ。

保護者の気付きや思い

*母親自身が苦手だったミニトマトだが、生長の過程を
実際に見たり、食べたりするうちに愛おしさを感じた
M児の母親。

たけのこみたいなトマトを
食べさせてもらいました。
ええええ 緑のようです。

今知るかたはトマトの
成長を見せたら、
驚かすために、
思いつきました。
お尻はトマトを食べたのは
初めてです。

*自分の子どもが育てたミニトマトの生長に
胸が熱くなったA児の母。

今日は心がお休みなの
トマトを運んでもらいました。
車に積むのが苦痛するほど
トマトは大きくなっていて、
A児ががんばって水をあげたから
こんなに大きくなったんだな
と思うとちょっとじーんと嬉しく
なりました。

<子どもたちの好奇心や探究心>

- ミニトマトの数の変化に興味をもって見たり、不思議に感じたり、
楽しみに数を数えたりする。
 - ・「黄色のお花が咲いたから、黄色のトマトが出来るのかな？」
 - ・何色になるか楽しみ。
 - ・黄色から赤くなった実があり不思議に思う。
 - ・細長いミニトマトの形に好奇心をもって見る。
- 自分の野菜を育てるうちに、興味が広がり、好奇心をもつ。
 - ・ドングリが大きくなったらどうする？と言ってドングリを埋める。
 - ・「A先生のは？〇〇ちゃんのは？」とみんなのトマトにどれだ
け実がなっているか気にする。

<保護者の方の気付きや思い>

- ・収穫すると次の日には、その上にあったトマトがむくむくと大き
くなるのがびっくり。
- ・我が子が頑張って水をあげたから、こんなに大きくなったんだな
あとと思うと、ちょっとじーんと嬉しくなった。
- ・今まで知らなかったミニトマトの生長の過程を見たり、食べたり
するうちに愛おしく思えた。

<事例から分かったこと>

- ・「おやこすくすく日記」があったことで、保護者の方も発見や驚きを感じる姿が見られた。また、自分の子どもの発
見やつぶやきに耳や心を傾ける姿が至る所で見られた。そのことが、栽培物に対する幼児の更なる好奇心や探究心を
掻き立てることにつながったと思われる。

*大きさと色の変化に好奇心をもった
R児親子。



いまはこんなに
お尻が赤くなったね
まだお尻のトマト
なにいろになるか
楽しみですだね

はじめはこんなに
ちいさい

*ミニトマトを実際に育ててみて、
生長に驚いたS児の母親。

フェンスによりかからず
くらい大きく成長したの
見て、とても驚きます。
こんなに上手に育てられま
んですね。
この数は80、90と
大々増えました。

ポイント

幼児の好奇心や探究心が更に膨らむための3つの保育計画のひとつに、親子での栽培活動による「おやこすくすく日記」を検討しています。このことを通して、親子で栽培することの意義や留意点を、保育者が改めて共通理解することにつながっています。また、親子で共感する喜びだけでなく、保護者の記録から日頃捉えにくい細かな子どもの発見や保護者の感動を知り、保育者もそれに応えるかがわりができます。